



発行: えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日: 令和3年9月1日  
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地  
TEL: 01466-2-2410 E-mail: erimomus@cocoa.ocn.ne.jp  
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

## ◇ 郷土資料の確認作業 ◇

郷土資料館では、町民の皆さんより、寄贈していただいた「タンス」や「行李」などの貴重な郷土資料の確認作業を行っています。

収蔵庫に保管している「郷土資料」の保存状態や汚れ落とし・登録番号と台帳との照合確認を一つ一つ行っています。

現在、台帳に登録されている番号数約4,700点のうち約2,900点の確認ができています。



写真上: 番号と保存状態を確認するため、外へ搬出  
写真下: 確認後、一つ一つ棚に整理

## ◇ 郷土資料紹介 ◇

今回は、「背負い籠(せおいかご)」について紹介します。

背負いという名の付く運搬具には、背負い縄、背負い袋、背負いもっこ、背負い箱、そして背負い籠など多くの種類があり、その用途によって語尾を変え使い分けていました。

特に、背負い籠は、竹やつるで編んだ籠に負い縄をつけたものをいいます。

えりもでは、ショイカゴと呼ばれています。背負い籠は、荷づくりしにくく、かさばる品物、また、比較的軽量の物資、海藻、魚介、果実、野菜などの運搬に使用されていました。



写真: 資料館に展示している「背負い籠」

## 地名の由来 ～ アブラコマ(油駒) ～

原名は「シリポク」で「シリ・ポク」(Siri-pok 岩・下)すなわちアブラコ(あいなめ)のことで、この海岸がアブラコの多い所で、こう名づけられました。

和人が入ってきた後に「アブラコ澗」と日本式に言い改めたもので、アブラコマ(油駒)場所の名は、この地名より生じたものです。



写真：町道から油駒を撮影

## 施設の休館について

北海道に緊急事態宣言が発令されたことから、当館は、8月27日(金)から9月12日(日)まで休館しますのでお知らせします。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承ください。

## えりもの外来種

アライグマは、食肉目アライグマ科アライグマ属に分類される哺乳類です。

北米原産の動物ですが、日本では、テレビアニメで知名度があがり、ペットとして輸入されましたが、凶暴で気性が荒いためペットには向かず、逃げ出したり捨てられたりしたのが野生化の原因になっています。

北海道でのアライグマの野生化は、昭和54年(1979年)に恵庭市内で飼育していた10頭程度が逃亡したのが、始まりと言われています。

えりも町では、平成28年(2016年)4月10日、町内(字庶野山中)で初めて捕獲駆除されました。

アライグマは、農作物や自然環境に大きな被害をもたらし、町内でもデントコーンや家庭菜園に被害がでています。

日本独自の生態系と野生生物を守るため、環境省は特定外来生物に指定しています。



写真：展示されているアライグマのはく製

9/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
休 館												○	休館日	○	○	○
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
○	○	○	休館日	○	○	休館日	生き物調査隊	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○

9月～10月の  
開館カレンダー